



# 王南通信

令和5年1月23日 第44号

HPアドレス <http://ounansho.sakura.ne.jp/>



外へ出て楽しく  
運動をしよう  
運動の良いいこ  
①気持ちよく走る  
②健康に長く生きることができる  
③ストレス解消になる。  
まとめ  
運動をすることで健康にもなるし  
楽しめる。  
みんな  
遊ぼう!!

外へ出て運動をするように  
育委員会が呼びかけてくれ  
ています。無理はしないでね。

## 書き初め大会を行いました

3、4年生が1月11日、12日（私の誕生日！）に書き初め大会を行いました。普段、毛筆の指導をしてくださっている教務主任の北野先生が、体育館で学年ごとに書き初めの方法などを教えてくださり、3年生は「うの年」、4年生は「七ふく神」と八つ切り半紙に心をこめて筆で書き上げました。

書き初めとは、日本のお正月の行事で、年の初めに文字などを毛筆で書くことです。主に、新しい年に向けた目標や努力をあらわしたり、健康や幸福などを願ったりする言葉を書きます。そんな伝統行事を体験し、昔から人々が大切にしてきた事や物、心について学ぶ学習にしてほしいと考え、書き初め大会を行っています。ちなみに、書き初めはその後、1月15日の小正月に行う火祭り「左義長」（どんど焼きともいいます）で、お正月飾りなどといっしょに燃やしました（今回はしませんが……）。燃やしたときに、炎や燃えカスが高く舞い上がると言われています(^-^)



## 28年目の1.17を迎えて

28年前の1月17日、私は香芝市の小学校で5年生を担任していました。私の子どもは生まれて6か月のときでした。午前5時46分。そろそろ仕事に行くために起き出そうかという時間に地震が起きました。奈良でも大きな揺れがあり、私はその揺れで目を覚めたのですが、子どもの寝ているベッドの近くにタンスなどがなかったかなと思うだけで、まったく動けなかったことを覚えています。

学校へ行き、朝の地震のことを学級の子どもたちと話しました。寝ていて気付かなかったという人もいました。そのころは教育番組などを授業で見るために各教室にテレビがあり、この日は特別にテレビをつけて子どもたちとニュースを見ました。時間がたつにつれ、神戸の町の様子が少しずつ報道されていき

ました。火災で燃える家、横倒しになった高速道路、どんどん増えていく被害を受けた人々の数。ずっとテレビをつけていたわけではありませんでしたが、町に報道局の人が入るにつれ、徐々に被害の様子が明らかになっていく。テレビをつけるたびに新たな情報が伝えられる。そんな体験は、学級の子どもたちはもちろん私にとっても初めてでした。みんな画面に釘付けになり、言葉も出ませんでした。シンとした教室に、アナウンサーの声の流れが流れていたことが思い出されます。

阪神・淡路大震災では、6434人の尊い命がうばわれました。その後も東日本大震災、熊本地震、大阪府北部地震など大きな地震が何度も起こっています。いつ起こるか分からず、突然来る地震。身構えることができません。できるのは、起こったときに備えて前もって準備しておくことだけ。家では非常持ち出し用品などを準備しておくことも大切ですが、一番大切なのは心の準備です。学校でも避難訓練をしましたが、地震が起こったときにどう行動すればよいか、教室にいる場合、トイレ、廊下、体育館、運動場にいる場合など、まずは頭の中で考えてみましょう。さまざまな場合の行動を考えておくことが、とっさのときのあわてない行動につながります。

## 3学期もしっかりと協力し合っています

2学期からスタートしている交流清掃。3学期も後期課程の人たちと前期課程の人たちが協力し合って清掃活動を行っています。義務教育学校になって9か月が過ぎ、前期と後期の人たちが一緒にいることがごく自然になってきたことを感じます。たまには、互いの学年のことや流行っていることなどをおしゃべりし合って（手は動かしながらね！）楽しんでほしいな(^-^) そんなことを思いながらみんなの姿を見えています。



## 配膳室ができた今では

報告が遅れましたが、2学期に配膳室が完成しています。それまで、給食は各学年の当番が旧の給食センターまで取りに行っていました。そこでの各学年の交流や譲り合いの姿を見るのが私は好きでした。

10月中旬に配膳室ができ、今ではワゴンで、給食を各教室の前まで宮原さんと赤井さんが運んでくれます。給食の準備や片付けの時間が短くて済みますし、何よりみんなの苦勞が減りました。よかったよかった。でも前の給食準備の光景もちょっと懐かしい私です(^-^)

